



調査概要

1. 調査テーマ

夫婦の妊娠期から育児期における家族のQOL*と子育ての環境との関連性、生活の実態など。

2. 調査方法 郵送法（自記式アンケートを郵送により配布・回収）

3. 調査時期 2006年から4年間（年1回調査／11月・6月の2グループ）

4. 調査対象 妊娠期から2歳までのフォローアップ調査に同意した夫婦 322組

*第1子の子どもについて回答した夫婦のみを対象としている。

	11月グループ	6月グループ
妊娠期妻・夫（322人）	2006年	2007年
0歳児期妻・夫（322人）	2007年	2008年
1歳児期妻・夫（322人）	2008年	2009年

5. 調査地域 日本国内全域

6. 調査項目（1歳児期）

家庭での養育機能、夫婦の相互サポート、夫婦の愛情関係、親と子のQOL*、子育てのストレス、ワークライフバランス、子どもの行動の特徴、子どもの発達、子どもの生活時間（日誌形式）

*WHO（国際連合世界保健機関）QOLについて

QOL（クオリティ・オブ・ライフ、生活の質）とは、人々が感じている自分自身の生活の良質さのことです。『WHO QOL26』は、国際連合世界保健機関（WHO）が定義する“健康”（身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること）の概念に沿って作成されました。今回の調査で使用したWHO開発の『WHO QOL26』質問項目は、出版元、株式会社金子書房の許可を得て使用しました。